

筑前あさくら農協の 役場総合支所窓口を閉鎖

長い間ご利用いただいていた、筑前町の指定金融機関「筑前あさくら農協」の役場総合支所の窓口が、平成20年3月末日で閉鎖されることになりました。

今後の税などの収納事務は、総合支所隣の農協三輪支店の金融課窓口で行います。

なお、税などの納付については、筑前町が指定している次の金融機関の各支店でもお支払いいただけますので、よろしくお願ひします。

- 福岡銀行 ●西日本シティ銀行
- 筑邦銀行 ●筑後信用金庫
- ゆうちょ銀行（郵便局）
- 筑前あさくら農協

1月の納税

国民健康保険税（第8期）
町・県民税（第4期）
納期限・口座振替日 1月31日（木）

（ご注意）口座振替日の前日から当日にかけて、指定口座に残額がないか、残額が税額に満たない場合は、税金の引き落としができません。



新成人集まれ!

祝 成人式

日時 1月14日（祝）

受付 9時30分～ 開式 10時～

会場 めくばーる市民ホール

対象 原則として町内在住の昭和62年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた新成人のみなさん

※新成人のみなさんにはハガキでお知らせしています。（11月末に筑前町に住民票がある人）

※小・中学校時代に筑前町に居住し、現在転出している人で、筑前町の成人式に参加を希望する人はご連絡ください。

問合せ めくばーる生涯学習課



めくばーる生涯学習課 ☎22-2780
コスモスプラザ公民館 ☎42-6643

ご参加お待ちしております

筑前町青少年育成町民会議 家庭部会講演会

日時 1月26日（土） 14時～16時

（受付13時30分～）

会場 コスモスプラザふれあいホール

演題 『こどもの心に愛の貯金を!!』

心の対話を大切に

講師 丸山 美恵子さん

※託児あり（無料・1月18日（金）までに要予約）

問合せ コスモスプラザ公民館・めくばーる生涯学習課

自分でロボットを作ろう

ロボット工作教室 参加者募集

ロボットが動く原理を、自分で作りながら勉強してみませんか？光で走るソーラーカーと、音に反応して歩くメデューサーIIを2回に分けて作ります。連続教室なので、2回とも参加できる人を募集します!!

日時 2月9日（土） 10時～

2月16日（土） 10時～

会場 めくばーる学習館 視聴覚室

対象 町内在住の小学5～6年生

募集人数 先着20人

参加費 300円

問合せ めくばーる生涯学習課

パソコン教室受講生募集

コース・期間

①初心者じっくりワードコース（基本操作から初級程度）

2月～3月の毎週水曜日（計6回）

②初心者じつくりエクセルコース（基本操作から初級程度）

2月～3月の毎週木曜日（計6回）

③パワーポイントを使ってみよう（基本操作から活用まで）

2月の毎週火曜日（計4回）

時間 午前の部 10時30分～12時30分

午後の部 19時30分～21時30分

受講料 ①②4千円・③3千円

（テキスト代別）

申込 1月8日（火）から定員になり次第×

問合せ コスモスプラザ公民館

ご注意ください

めくばーる学習館

レクリエーション室の利用調整

めくばーる学習館では、利用希望が多い「レクリエーション室」について、平成20年度の利用希望日時の調整を行いますので、希望される人は1月18日（金）までに生涯学習課に申し出てください。

問合せ めくばーる生涯学習課

筑前町の史跡・名勝・伝承

26 タッチョ塚と宝きよ印塔



畑島のタッチョ（断腸）塚

かつて、畑島の田んぼの土手に塚が一つあり、昔から「タッチョ塚」として、土地の人々に恐れられてきました。

昭和61年、この「タッチョ塚」周辺を工事中、小さなかめの中から人間の頭の骨が出土しました。

調べてみると、石臼を台座に墓石を建て、墓石に「南無地藏菩薩」「安永三年（一七七四年）九月吉辰施主真鍋氏」とありました。

塚は村の墓地から一人離れ、寂しく埋葬されていたわけです。

かめの中に頭骨のみというのは異常ですし、墓石に石臼と加工していない自然石を転用するというのも通常の葬法ではありません。

「タッチョ」とは断腸、つまり何らかの理由で切腹させられ、介錯された人の首塚と考えられます。

現在、お墓は出土地の東百メートルほど離れた、古くからの地藏堂に安置されていますが、塚と地藏堂は本来一体のものであったのかもしれない。

さて、三牟田村にちよつと変わった塔が建っています。この塔は宝きよ印塔といい、供養のためのものとされています。

塔の台座に、「庚辰大火〇〇月文政三稔」「施主 金子市治 多田〇〇」として記されています。

これにより、江戸時代の文政三年（二二〇年）に村で大火事があり、多くの死者が出たのでしよう。

塔は、金子市治と多田〇〇という人が供養のために建てました。これらのことは、記録に残されていませんが、古者が伝える火事の話と一致します。

（教育委員会 生涯学習課）

筑前文芸

たかなな句会



落葉掃く老の肩にもまた一ト葉 選者 桑野見山子

亡き友の句集の名にも石路の花 熊本つや女

ほほ笑める遺影に手向く菊の花 松尾 初美

溜池に紅葉の影を揺らす鳥 松尾 澄月

石路咲いて篋経を点すごと 鬼塚 道端

初時雨裾に従へ由布の岳 石橋 代子

葬列に紅葉照り葉もくすみたる 広瀬ノブ女

冬紅葉夕日に燃ゆる里静か 久保山加津

狭庭にも狭庭に適ふ紅葉かな 山本まさ女

ひばり野句会

冬ざるる水車に昭和の音残し 外園 威雨

冬天の何処に酌めり酒仙老 大山 好春

宝蔵の彩り南京紅紅葉 西山 光法

初霜や記す日記の冒頭に 山田 栄子

珍らしき鳥来て千両食み尽し 行武恵知子

木の葉散る水車は水を吐くばかり 矢野 米子

曲屋の切張障子縁会話 砥綿 撫子

天高し古処紫の風かるし 井上とわ子

黙禱に師の温顔や帰り花 谷 登代子

鍵屋作り暮しを今に縁小春 金子しげ子

小春の日ゆつくり廻しある水車 斉田日奈江

生きてあるごとく枯葉の転がりし 原 民枝

拾ひ来しからたちの実の香りして 於保 幸女

炭竈は郷土の遺産 山田 昭廣